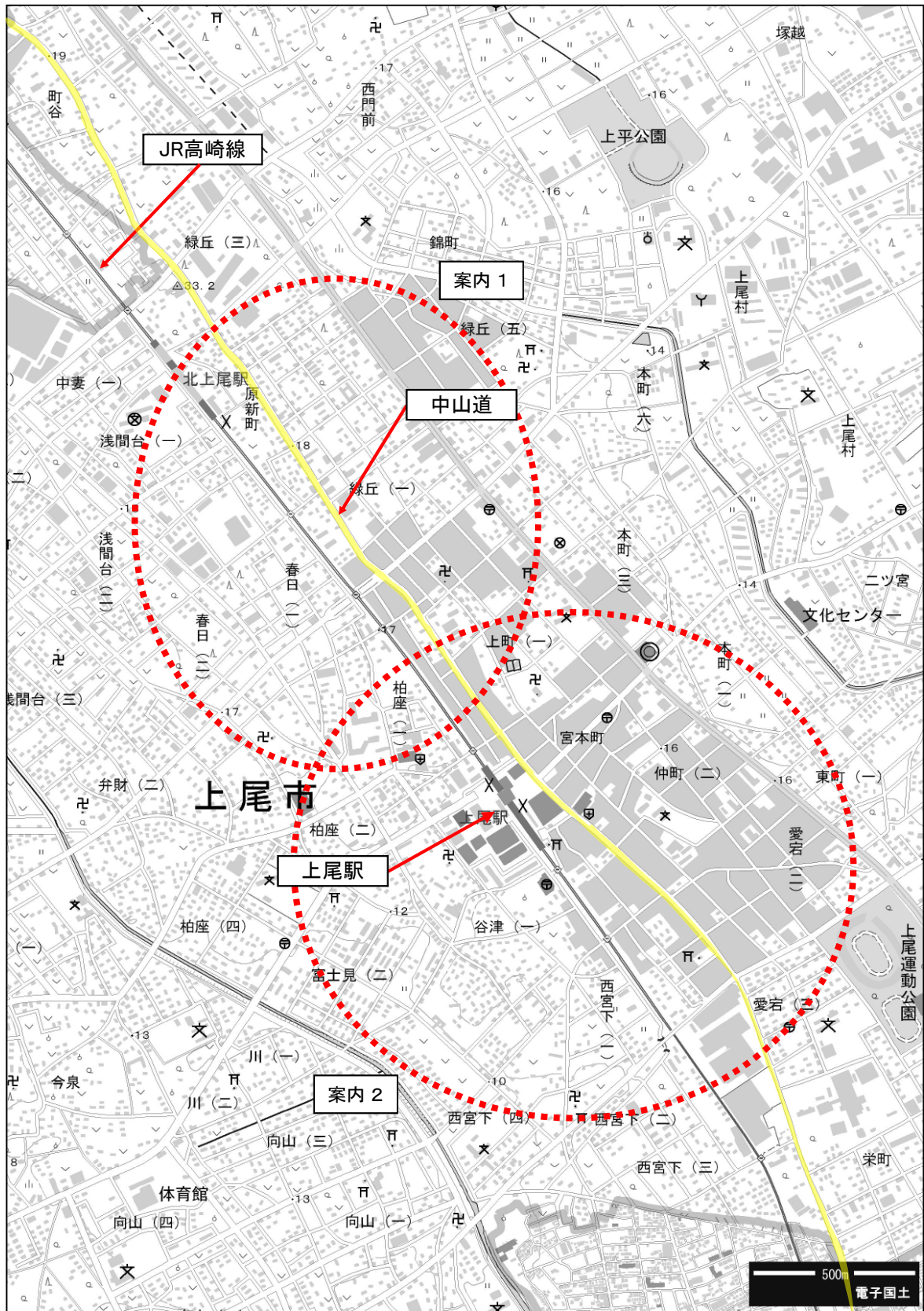


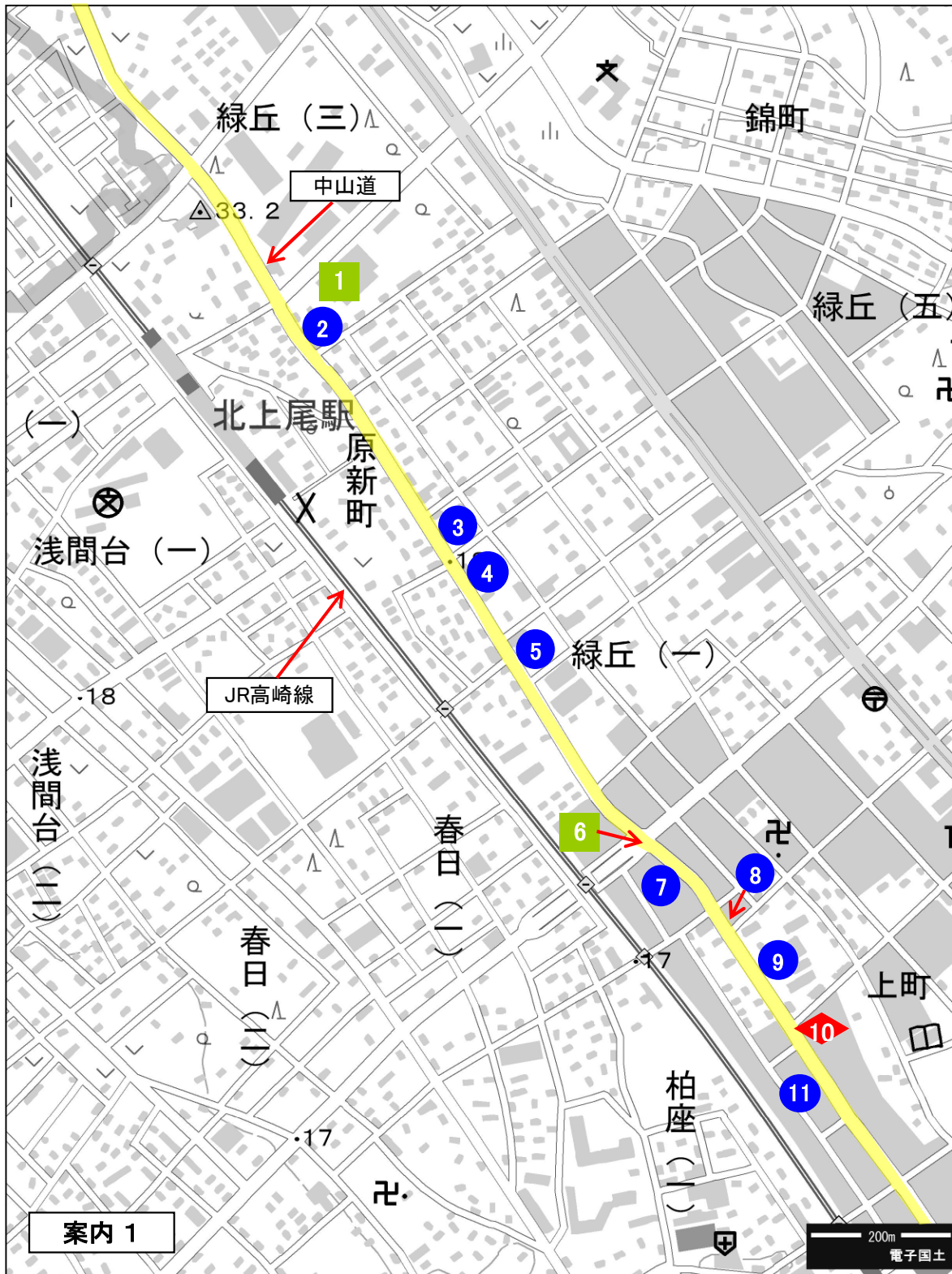
上尾



案内図

調査範囲

上尾



配置図

凡例



史跡・寺社等

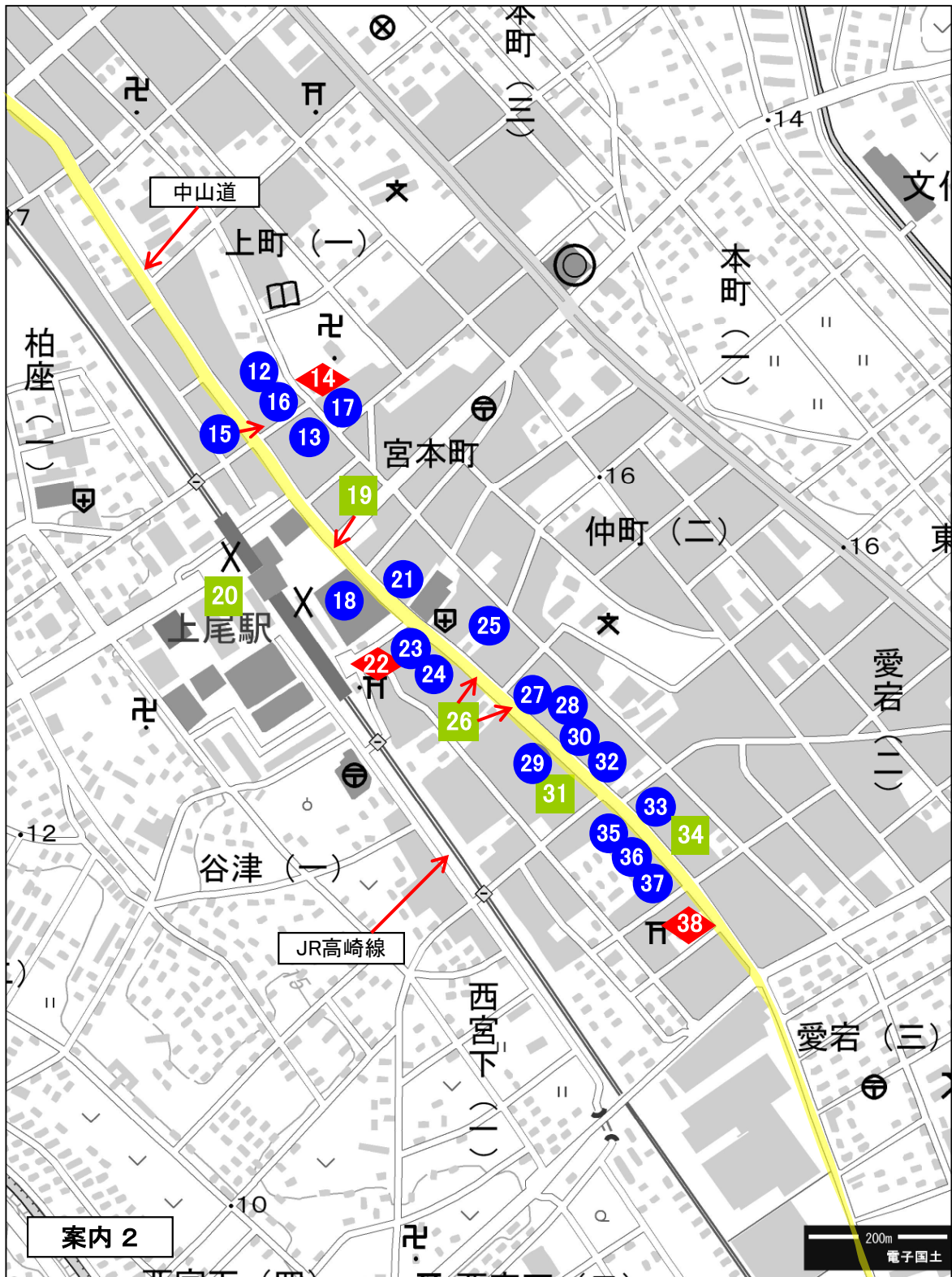


その他の建造物



通り・広場・樹木他

上尾



案内 2

配置図

凡例

- ◆ 史跡・寺社等
- その他の建造物
- 通り・広場・樹木他

上尾



上尾宿は、日本橋を出て最初に泊まる宿場町であったため、本陣1軒、脇本陣3軒のほか旅籠が41軒と多かった。しかし、安政7(1860)年の大火により往時を偲ぶ遺構は残っていない。街道沿いには歴史ある酒造メーカーや上尾ならではの鐘馗様を戴いた店舗や住宅を散見することができる。

1	-1	屋敷林	1	-2	屋敷林	2	店舗
						<p>上尾宿の最も北側には、最上地方に次いで全国2位の生産量を誇った桶川紅花の仲買商の屋敷林である。</p> <p>幹線道路の角地にあり、うっそうとした樹木がひとときわ目を引くものがある。</p> <p>街道沿いの並木とあいまって軒の低いお洒落なイタリアンレストランである。外壁と屋根のアースカラーの色彩が落ち着いた雰囲気を出している。</p>	
							



	<p>6 -1 中山道の道標</p> 	<p>6 -2 中山道と道標</p> 
	<p>中山道を示す道標と鐘馗様を戴いた掲示板があり、ポケットパーク化された交差点である。</p>	<p>交差点から南側(上尾宿)を臨む。現在は、交通量の多い幹線道路機能を担っている。</p>
<p>7 店舗</p>	<p>8 住宅</p>	<p>9 -1 酒蔵</p>
		
<p>街道沿いから奥まっているが、立ち寄りたくなるお洒落な喫茶店である。駐車場の片隅の植栽スペースも景観に配慮されている。</p>	<p>和風の低層住宅で前庭の松等の植栽が一層和風住宅を引き立てている。</p>	<p>上尾宿に創業したのが明治27年の酒蔵である。外壁を黒にして開口部の少ない異彩を放つ建築である。</p>
<p>9 -2 酒蔵</p>	<p>9 -3 酒蔵</p>	<p>9 -4 酒蔵</p>
		
<p>街道に面する竹の植え込みは、店内の目隠しであると同時に景観に配慮した演出となっている。</p>	<p>少ない開口部がまとも1枚の鏡のように青空を写していて美しい。</p>	<p>酒蔵は一塊の岩のように存在感を示している。</p>

10	庚申塚	11	飲食店街	12	病院
			<p>上町の庚申塔である。享保元年の建立とある。</p>	<p>まるでアパートのように立ち並ぶ飲食店である。</p>	<p>2、3階の外壁が縦格子のようにデザインされた医院建築である。</p>
13	事務所兼用店舗	14	遍照院の参道	15	店舗
			<p>中央部のガラス面と両側の縦長窓が印象的な建築である。</p>	<p>参道の向こうに寺院建築特有の瓦の大屋根と山門が見え、現代でも街のランドマークとなっている。</p>	<p>ファサードが独特のデザインで看板建築となっている写真店。</p>
16	店舗	17	店舗	18	-1 百貨店
			<p>歴史を感じる店舗の看板が目をお茶屋。</p>	<p>1階部分は改修されているが、2、3階部はレトロな感じのする石張り風の建築である。</p>	<p>上尾駅前の角地に立地し、外壁とエントランス部に特徴のある、目立つ百貨店である。</p>

18 -2 百貨店前のオブジェ	19 駅前通り	20 上尾駅デッキ
		
<p>百貨店の特徴あるエントランス部である。交差点の歩道部には彫刻も置かれ街の点景ともなっている。</p>	<p>上尾駅前から東方向(上尾停車場線)を臨む。無電中化を行っており電線がなくすっきりした道路景観である。</p>	<p>上尾駅前のデッキに架かるシェル構造の屋根は鳥の翼のように見える特徴的なデザインである。</p>
	22 -1 氷川鍬神社	22 -2 氷川鍬神社の力石
		
	<p>上尾宿に鍬や鋤等の農機具職人が多かったために、農業の神様を祀る神社として建立された。「お鍬様」として地元で親しまれている。</p>	<p>江戸時代、祭りのときに力自慢をしたと伝えられる石である。</p>
23 蔵	24 -1 店舗	24 -2 鐘軌様
		
<p>街道沿いには、商家を偲ばせる蔵が見られる。</p>	<p>シンプルなデザインの外観が呉服店らしい雰囲気を出している。</p>	<p>看板の下には鐘馗様がにらみをきかせている。大火に見舞われた歴史を物語るものである。</p>

25 -1 脇本陣	25 -2 脇本陣	26 -1 中山道(無電柱化)
		
<p>上尾宿の脇本陣を代々勤めた家である。</p>	<p>敷地の塀に当時の鬼瓦 2基が埋め込まれている。 24の鐘馗様とにらみ合う形に なっている。</p>	<p>上尾市仲町1丁目付近の上尾駅 よりの中山道は無電柱化され、 電線のない道路景観を形成して いる。</p>
	27 通り抜けできるマンション	
		
	<p>街道沿道は、かつての間口税の影 響で奥行きが深い敷地が残るが、 その条件を通り抜け通路を造るこ とでクリアしているマンションである。</p>	
	30 -1 店舗	30 -2 鐘馗様
		
	<p>シンプルですっきりしたファサードの 和菓子店である。</p>	<p>ここでは屋根ではなく店先に鐘馗様 が置かれている。</p>

		
	<p>33 店舗と原市新道</p> 	<p>34 更地(短冊型敷地)</p> 
	<p>中山道と原市新道の交差点に立地する特徴的なデザインの染物店である。</p>	<p>街道沿いに面した奥行き深い敷地である。間口税を逃れるための敷地構成は、現代の土地利用にも影響を残している。</p>
<p>35 店舗</p>	<p>36 店舗</p>	<p>37 店舗</p>
		
<p>重厚な屋根瓦と木製雨戸が印象的な店舗である。</p>	<p>2階と1階屋根の大きさの違いや1階の木製建具が印象的な建物である。</p>	<p>妻側が街道に面する店舗である。戸袋に古い時代を偲ばせるものがある。</p>

38	-1	愛宕神社	38	-2	愛宕神社の庚申塔
					
<p>愛宕神社は、当初上尾運動公園の北門西方2.3km程の地にあったものである。その後明治42(1909)年に当地に移され、愛宕町と改名された。</p>		<p>愛宕神社の境内に庚申塔があり、享保7(1722)年の建立とある。</p>			